

令和3年度 学校推薦型選抜
歴史学科 小論文② 出題意図

出典は、村井章介「日本史と世界史のはざま」（『中世史研究の旅路』校倉書房、2014年、p168-172）で、出題は「著者は一国史の枠組みや一国史を超える固定的な地域の枠組みで歴史を認識することを批判している。これをふまえて、「地域史」の持つ可能性について、具体例をあげながら、八〇〇字以内で論じなさい。」である。これは、論じている出題文を読んだ上で、具体的な「地域」の枠組みを挙げて、歴史認識の枠組みを論じるものである。

評価は、日本史・世界史の枠組みを相対化するという著者の意図をくみ取り、自分自身の歴史認識の枠組みを想定して、具体的かつ論理的に説明できているかを判断する。